

イデックスオイルレポート ~For a week~

2021/9/10作成 (株)新出光

【概況】<ハリケーンの影響残り、供給懸念から上下動繰り返し>

●3日、ガソリン需要が例年高まる米レーバーデー(労働者の日、6日)に伴う連休を控えて、政府が供給支援に乗り出したことや外国為替市場でドル安・ユーロ高が進行したこともドル建てで取引される原油の割安感につながり、買いを後押ししました。

●6日、前日に1カ月ぶりの高値を付けた反動から利益確定の売りが出ています。米労働省が3日発表した8月の雇用統計は、景気動向を敏感に反映する非農業部門就業者数が前月比32万5000人増でした。新型コロナウイルスの変異株拡大が響き、前月(105万3000人増)から伸びが大幅に縮小し、市場予想(72万8000人増)にも届かなかったことを受けて、米景気の先行きに懸念が広がり、原油が売られました。

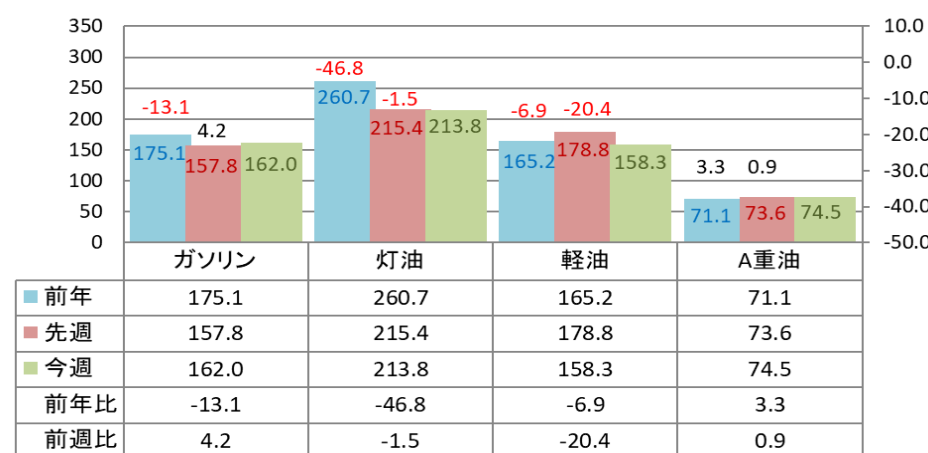
●7日、休場

●8日、サウジアラムコは、10月分のアジア顧客向け原油公式販売価格(OSP)を4カ月ぶりに引き下げました。感染力の強い新型コロナウイルスのデルタ株の感染がアジアを中心に拡大しており、ロックダウンなどの対策が実施されており、価格引き下げをきっかけにエネルギー需要鈍化懸念が強まり、原油が売られました。また米内務省安全環境執行局(BSEE)は7日、ハリケーン「アイダ」の影響で、メキシコ湾沖での石油生産が依然として79%(日量144万バレル相当)停止していることを明らかにしました。これまでの産油量の減少は約1750万バレルに上り、生産停止は今後数週間続く見通しとなり、市場では供給逼迫への懸念が広がり、原油買いが先行したことで相場は一転70ドルの大台回復を試す展開となっています。

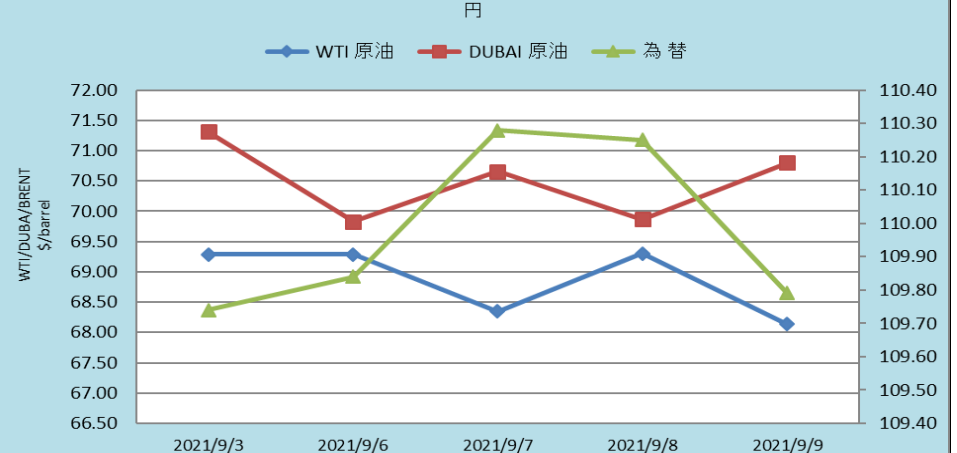
●9日、EIAの週間統計では原油在庫が前週比150万バレル減と、減少幅は市場予想の460万バレル減を下回り、ガソリン在庫は720万バレル減(同予想340万バレル減)と大幅な取り崩しとなりました。強弱まちまちの結果を受け、相場の反応は今のところ限定的となっています。

9月10日 17:00現在 WTI原油 69.00ドル 為替 1ドル 109.95円

国内石油製品在庫 9月4日時点 単位万KL



ドル/bbl WTI・DUBAI / 為替 相関グラフ 単位



次回元売変動予測

	9/16~	元売変動予測
ガソリン	→	-0.5~±0
灯油	→	-0.5~±0
軽油	→	-0.5~±0
A重油	→	-0.5~±0
LSA	→	-0.5~±0

【製品卸価格】<先安見込んだ売りが散見>

《今週》今週の元売り仕切り改定は3社ともに「+0.5円」の値上げ改定でした。原油の上値が重い状況のなか、月間リンクの玉や早く消化を進めたいディーラーは徐々に売りを強めてきています。今回+0.5円仕切りは上がりましたが、市況としては、ほぼ横ばいでの値動きとなっています。

《9月11日以降》次回の元売り改定は、現状の原油コストで「-0.5~±0円」の小幅変動予測です。次回の改定が、値下げの可能性が高いとみて、週末は一步踏み込んだ価格対応が各エリアで見受けられます。その為週末は月間玉の販売に週決め玉は対応できず売り負けている状況となっており、この状況は週明けも続くことが大いに考えられます。8月同様に9月の出荷も悪く、進捗がかなり遅れていることから、焦り売りの様子があり、週末でもオーダー自体が少ないことから、少ない数量を巡って価格競争が繰り広げられていることも市況を下げてしまっている要因といえそうです。同業者間での販売につきましても、自社玉消化を優先し販売しているために、あまり活発には取引されなかった状況が窺えます。東北エリアでは稲刈りの季節が9月下旬からはじまることもあり、灯油の需要は徐々に始まっています。

※現段階の原油コストによる予想です。

【次世代エネルギー】<カーボンニュートラルLNGの船舶向けの供給開始>

大阪ガスのグループ会社Daigasエナジーは、商船三井のグループ会社日本栄船の保有する船舶用燃料向けにカーボンニュートラルLNG(CNLNG)を供給することを発表しました。Daigasエナジーはすでに、CNLNGの都市ガス向けの供給は行っていますが、船舶用としては国内初の取り組みになります。またCNLNGによる都市ガスの供給は静岡ガスでも供給することを発表しています。今回のCNLNGは天然ガスの採掘から都市ガスを消費するまでの全工程で発生するCO2を削減効果で相殺することで、発生するCO2を実質的にゼロとみなせるLNGです。これにはカーボンオフセットとよばれる、CO2など温室効果ガスを削減しようとしてもどうしても削減できない分を植林や森林保護といったクリーンエネルギー事業を行い排出削減や吸収する活動を通して埋め合わせる取り組みが活用されています。

[出典]

- ① https://www.osakagas.co.jp/sp/company/press/pr_2021/1297391_46449.html
- ② <https://www.shizuokagas.co.jp/page.jsp?id=45749>
- ③ <https://sustainablejapan.jp/2016/02/05/carbon-offset/21316?amp>